

令和7年度小松市立国府小学校 学校評価 1 (計画)

めざす児童生徒像

- | | |
|----------|----------------|
| 【やさしい子】 | 自分も人も大切にする子 |
| 【かしこい子】 | 自ら学ぶ子、学び合う子 |
| 【たくましい子】 | チャレンジし、自分を高める子 |

*児童生徒結果・教員結果・保護者結果

目標	項目	目標指標	評価達成度アンケート内容・調査項目	数値・アンケート結果 (%)			※差	達成状況の分析	改善策
				教員	児童生徒	保護者			
学校 重点 項目	共に 自分から 伸びる 動き出 し育成 主 体性 ・協 働 ・尊 重	①②③の姿を目指している教員・児童が、中間…85%以上 年度末…90%以上	① 自分からあいさつしている						
			② 周りの人に優しい言葉や行動で接している						
			③ 自分からチャレンジしている						
石川 県 重 点 項 目 共通	業務 働き 方 改 善	①②とも意識的に行っている教員が85%以上	集計						
			① 80時間越えゼロに向か、時間外勤務の削減に取り組んでいる。						
			② 学校組織の中で自分の役割が明確であり、創意工夫しながら取り組むことができている。						
目標	項目	目標指標	評価達成度アンケート内容・調査項目	数値・アンケート結果 (%)			※差	達成状況の分析	改善策
小松 市 共 通 重 点 項 目	「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善 指導力の向上	学校研究 ①②の平均が 中間…85%以上 期末…90%以上	① 研究主題に迫る目指す授業スタイルを共有し、単元（授業）構想シートなどの具体的な取組を共通実践している。						
			② 授業研究では、教職員一人一人が子供の姿を語ったり、改善案を示したりするなど主体的に取り組んでいる。						
			集計						
		「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善 ①②の平均が 中間…80%以上 期末…90%以上	① 児童生徒は、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。						
			② 児童生徒は、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。						
			③ 児童生徒は、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している。						
			④ 児童生徒は、話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達の考え方（自分と同じところや違うところ）を受け止めて自分の考え方を伝えている。						
			⑤ 児童生徒は、振り返る活動の中で、授業の目標に沿って自分の学びの変容を実感したり、学びに対する達成感を得られたりしている。						
			⑥ 児童生徒は、コンピュータなどのICT機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために使用している。						
			集計						
		カリキュラム・マネジメント ①②がそれぞれで、90%以上	① 指導計画の作成に当たっては、学校の教育目標の実現に向け、各教科等の教育内容を教科横断的な視点で組み立てている。						
			② 児童生徒や学校、地域の実態を捉えて教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のP D C Aサイクルを確立している。						
			③ 全職員が学力向上の取組の目的や意義を理解し、課題の解決を期待できると納得して共通実践に取り組んでいる。						
			④ 校区の小・中学校間で学力について情報交換し、課題について共有している。（小中連携）						
		学習方法 ①②がそれぞれで、80%以上	集計						
			① 児童生徒が自分で学ぶ内容や学び方を決めるなど、工夫して取り組めるような活動を行っている。						
			② 児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面では、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を活用している。						
			集計						